

目次

最新情報.....	1
新機能.....	1
V1.10の追加.....	1
メンテナンス項目.....	2
V1.11の修正.....	2
V1.10の修正.....	2
V1.01の修正.....	2
ファームウェアバージョンの確認.....	3
ファームウェアアップデート手順.....	3

最新情報

本機のファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。最新のファームウェアに関しては、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) にてご確認ください。

新機能

V1.10の追加

- サーチ速度が10倍から100倍になる機能を追加しました。
早送り／早戻しサーチ中 (◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを長押し) に、逆方向の ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを長押しすることでサーチ速度が100倍になります。
 - ピークホールド表示時間を任意の時間 (1 ~ 10秒の間で1秒単位) に設定する事が可能になりました。
 - メディアへの録音可能時間が残り10分になると、INFOインジケータが赤く点灯して警告を表示するようになりました。
 - メニュー画面の “PLAY FUNC” ページに “PLAY MODE” 項目の設定を追加しました。
- 選択肢**
- CONTINUE** (初期値) : 現在選択中のフォルダーにある再生可能なファイルを全て再生します。
 - SINGLE** : 選択中のファイルのみを再生します。
- “PLAY MODE” 項目の設定追加に伴い、リピート再生モードを変更しました。
- 選択肢**
- ON***
 - OFF** (初期値)
- * “PLAY MODE” 項目の設定にしたがった範囲で繰り返し再生を行います。
- マーク位置への移動やサーチ中に通過したときにマーク情報がポップアップ表示されるようになりました。

メンテナンス項目

V1.11の修正

- アナログ入出力レベルが製品の定格に対して、0.5dB以上の誤差が生じていた不具合を修正しました。
- インプットモニター状態（カレントデバイスのメディアが挿入されていない時にRECORDボタンを押す）で、“REC FILE” ページにある設定項目を変更すると音声が出力されなくなる不具合を修正しました。本バージョンでは、インプットモニター状態で“REC FILE” ページの設定項目を変更することができません。
- MULTI JOGダイヤルの押し方によってホイールが左右に動き、意図しないメニューに移動することがありましたが、誤動作が起こりにくくなる対策をしました。

V1.10の修正

- AES/EBU接続時に出力側がDual Wire modeの場合、INFOインジケータが赤く点灯して警告を表示するように修正しました。
- 入力信号モニター機能がオンの場合、“REC FILE” ページの“FILE” 項目および“SAMPLE” 項目の設定内容がすぐ動作に反映されるように修正しました。
- **メモ**
入力信号モニター機能がオフの場合は、RECORDボタンを押すまで動作に反映されません。
- DA-3000でフォーマットされていないUSBメモリーを挿入すると、“**Formatting not optimal. Format card ? OK=ENTER**”（メディアのフォーマットが推奨外です。フォーマットしますか？）とポップアップ表示していましたが、今回の修正で“**Formatting not optimal.**”（メディアのフォーマットが推奨外です。）を表示するように修正しました。
- **メモ**
本機で使用するメディア（USBメモリー、SDカード、CFカード）は、DA-3000でフォーマットしたものをお使いください。
- 64MB以上の音楽ファイルがメディア間でコピーできなかった不具合を修正しました。
- ADDA DIRECTモードがオンの場合、PLAYボタンを押すと“**Cannot play while input monitoring.**”（インプットモニター時には再生出来ません。）とポップアップ表示されていましたが、今回の修正でPAUSEボタン、◀◀ / ▶▶ ボタン、マークの登録、マークの位置への移動の操作時にもポップアップ表示するように修正しました。
- 外部同期の異常から復旧した場合、リファレンスレベル設定が強制的に-16dBに変更されてしまう不具合を修正しました。
- DSDIFFファイルおよびDSFファイルの再生時（具体的には、5.6MHzの時は12:41以降、2.8MHzの時は25:21以降）に、USBキーボードによるダイレクトロケートが動作しない不具合を修正しました。
- カスケード接続時に、同期している機器間のホーム画面に表示される1秒未満のカウンタの値が異なっていた不具合を修正しました。
- カスケード接続時に“FILE TYPE” 画面の設定を“DSDIFF” / “DSF” から“WAV-24” / “WAV-16” に変更すると、スレーブ機がマスター機のコマンドを時々受信しなくなる不具合を修正しました。

V1.01の修正

- DSFファイルの再生待機中に、進行方向へのマーク位置への移動ができない不具合を修正しました。
- DSFファイルにJPEGなどのサイズの大きいタグフレーム* があると、タグデータを壊してしまう不具合を修正しました。
*：アルバムジャケット情報などが該当します。
- “INFORMATION” 画面でのファイル情報が更新されない不具合を修正しました。
- DSDフォーマットでの録音（待機）時やモニター時にメーターがちらつく不具合を修正しました。
- LATIN-1（ISO8859）の文字が表示されない不具合を修正しました。
- ディスプレーに表示される文字に非対応文字フォントがある場合、次の文字が前の文字に重なって表示されてしまう不具合を修正しました。
- 半角カナの半濁点が表示されない不具合を修正しました。
- RC-10でのボタン操作の反応を良くしました。
- “Auto Mark” 画面の“Unlock” 項目が“ON” のとき、DSDデジタル入力の録音時に、Unlockしていない状態でマークが付いてしまう不具合を修正しました。
- ADDA DIRECTモードがオンの時に、録音中にマークを付けることができない不具合を修正しました。
- 動作の安定度が向上しました。

ファームウェアバージョンの確認

ファームウェアアップデート作業前に、お手持ちのDA-3000のファームウェアバージョンを確認します。

1. 本体の電源を入れてください。
2. 起動画面の機種名表示“DA-3000”の下側に表示される“Ver.”（ファームウェアバージョン）を確認してください。

ここで表示される“Ver.”が、これからアップデートしようとしているファームウェアバージョンと同じ、または新しい場合はアップデートの必要はありません。

ファームウェアアップデート手順

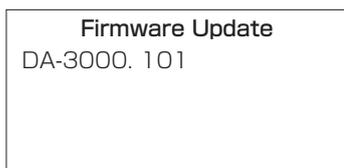
1. TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) より最新のファームウェアをダウンロードします。ダウンロードを行ったファイルがZIP形式等の圧縮ファイルの場合は解凍してください。
2. ダウンロードしたファームウェアをCFカードのルートディレクトリ（一番上の階層）にコピーしてください。
3. 本体の電源がオフの状態、本体のPAUSEボタンとRECORDボタンを押したままPOWERスイッチを押して電源をオンにします。
以下の画面が表示されます。



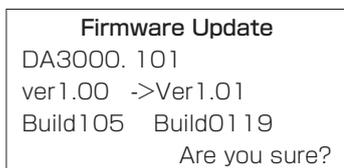
メモ

起動画面を表示後、“Firmware Update”画面が表示されるまでボタンを押したままにしてください。

4. ダウンロードしたファームウェアをコピーしたCFカードを、CFカードスロットに挿入します。
以下の画面が表示されます。



5. MULTI JOGダイヤルを押します。
以下の画面が表示されます。



メモ

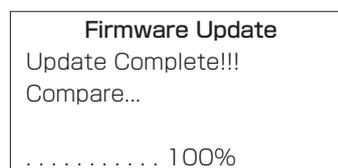
画面は一例で、実際の表示とはことなります。

6. MULTI JOGダイヤルを押して、アップデートが開始します。

注意

- アップデート中は電源を切断しないように注意してください。
- アップデート途中で電源が切断されると、起動できなくなる恐れがあります。

7. アップデートが完了すると、以下の画面が表示されます。



8. 本体のPOWERスイッチを押して、電源を切ります。
9. 「ファームウェアバージョンの確認」を参照して“Ver.”が最新のファームウェアバージョンであることを確認してください。
以上で本機のアップデート作業は終了です。
10. CFカード内あるファームウェアアップデート用ファイルを削除してください。